

2022年度 入学試験 学特入試Ⅱ・一般

国 語

※問題は[1]ページから[13]ページまであります。

※マークシートに、受験番号・氏名・性別・科目を正しく記入してください。

※解答は、すべてマークシートに記入してください。

※書き誤りをしたときは、きれいに消してから、新しい解答を書いてください。

学 特 入 試 Ⅱ 般	受 験 番 号		氏 名	
----------------------------	------------------	--	------------	--

高崎健康福祉大学高崎高等学校

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「考えをつくる」作業は、まず必要な要素（タネ）を自分の頭の中から出してみることから始まります。これを本書では「要素の抽出」もしくは「タネ出し」と言っています。次にそれらの要素を組み合わせて、ある構造をつくります。この作業は「^ア要素の構造化」と言っています。このときにつくられる構造は一つではなく複数です。それからそうしてできた複数の構造をさらにつなげて、それらを^Aホウ含する全体構造をつくりあげます。これが「考えをつくる」作業なのです。

私たちが何かを考えると、最初からすっきりした形になっていることはありません。最初のうちは、頭の中で何かもやもやしているように感じます。それは考えをつくるのに必要な要素がまだバラバラに浮かんでいる状態だからです。

この段階ではまだ、頭の中に浮かんでいるものがいったいどのようなのか、自分でもよくわかっていないことが多いのです。だからまず、もやもやしている要素を表に出してみることが必要です。そうすることで要素の整理と構造化がやりやすくなります。

ここで言う、考えを構成する要素（タネ）というのは、いわゆる知識やデータのことです。一般的には、知識やデータをたくさん持っている人のほうが、当然、考えもつくりやすいはずですが。

しかしさらに重要なのは、知識やデータを整理して構造化することです。知識やデータだけたくさん持っていて、それを整理して構造化できなければ、その人はたんなる「もの知り」で終わってしまいます。実際に評論家タイプの人をはじめ、世の中にはこうした人がたくさんいま

す。彼らはたくさん知識は持っていますが、新しく考えをつくり出すことはできないのです。

考えをつくるときには、何らかの外からのきっかけ（刺激）が必要です。なぜなら何も刺激がないところでは頭が働き始めないからです。

刺激を受ける場面はさまざまです。たとえば興味を持って何かを観察したり、自ら行動しているときには自然に頭が働きます。それによって、何かの課題が見つかることはよくあります。そしてその課題を強く意識すると、頭の中で勝手に解決方法を考え始めます。

もちろん課題は、自ら見つけるだけでなく、外から与えられることもあります。実際の場面では、むしろそのようなケースのほうが多いでしょう。

学校ではそれが試験問題や研究課題のような形で与えられることがあります。会社では仕事で課題が与えられて考えをつくることが求められます。それぞれ「研究テーマ」や「企^Bカク」といった言葉に置き換えたほうがわかりやすいかもしれません。こうした場合、いずれの課題も答えが一つという単純なものは少なく、正解はいくつもあり得るような複雑なものです。

課題は、より具体的なもののほうが考えをつくりやすくなります。しかし課題そのものを自分で見つけるのはなかなかたいへんなことです。また、外から課題を与えられるときでも、たいていはボヤツとした^Cチュウ象的な形で示されるので、解決方法を導くためにはより具体的な課題を自分で見つけなければなりません。

たとえば会社の仕事で、「部署の営業成^Dセキを上げる」という課題が与えられたとします。しかしこれだけではまだ漠然としているので、与

えられた漠然とした課題から思いつく要素を摘出して、「チームの情報共有を図る」「顧客へのアプローチを変える」「自分のコミュニケーションスキルを高める」などといった具体的な課題を見つけます。

だからこそ、考えをつくるためには、^イ刺激を受ける機会、すなわち対象を観察したり、自発的に行動することが有効になるのです。

ただし、観察や行動がいくら大切だと言っても、対象をただ漠然と見たり、^ウ闇雲に動いているだけでは意味がありません。ここでのポイントは自分なりの目的意識を持つことです。目的を意識することは、観察の視点が定まることを意味します。そこで視覚だけではなく、聴覚、嗅覚、味覚、触覚といった五感をフルに使いながら観察し、行動するのです。そうして得られた刺激は、考えをつくるときの大きな力になります。

私が自分でも実践して、人にもよくすすめているのは、「^エ三現」を大切にすることです。

三現というのは「現地」「現物」「現人」のことで、三つの言葉の頭にある「現」からこのように呼んでいます。意味しているのは、自分で実際に現地まで足を運んで、現物を直接見て触れて、現場にいる人から話を聞くことです。いまだき、ずいぶん手間がかかる方法だと思われるかもしれませんが、^オこれが考えをつくるのに最も適した方法だと私は考えています。

いまの時代は、ネットをはじめとするメディアも充実しています。だれでも簡単に^Eケン索することで目当ての情報を探し出すことができますし、それらから得られる情報を見るだけでもかなりのことはわかります。実際に考える要素を取り入れるタネを仕入れる場としてはメディアは非常に有効です。

また世の中には専門家というたいへん^F利な人たちがいて、各種のメディアでは「客観的な事実」と一緒に、「その事象の見方」を解説してくれています。こういうものを利用すれば、手間暇をかけずに対象をそれなりに理解することができるし、実際にそのような方法で事象の理解をしている人はたくさんいます。

しかし一方で、こういう方法で対象を本当に理解するには限界があるのも事実です。理解していると思っている人たちは、おそらく理解したつもりになっているだけのことも多いのではないでしょうか。それはメディアで得られる客観的事実やその事象の見方は、実際とは異なっていることも多いからです。

たとえば、私は大きな事故現場に調査のために出向くことも多いのですが、そこではしばしば感じるのは、メディアを通じて見聞きしていたことと、実際に三現で知ることがまったく違うということです。

また、私にとって重要だと思うことが、メディアではまったく扱われていなかったりします。これは取材をしている記者の視点と、私の視点がまったく違っていることから起こるズレです。同じ事象を見聞している、視点が違うと「違う事実」を見ていることになります。こうしたことは現場に行つて、現物に触れたり、現場の人から直接話を聞かないとけつしてわかりません。

三現を行うときに私が意識しているのは、^カ目的意識を持つて行動し、実際に体験しながら自分の頭で考えることです。また考えるだけではなく、そのときに自分が何を感じたか、そのときに湧き上がった感情も大切にしています。こうすることで、タネは、より自分の中に取り込めるようになって、また必要なときに引き出せるようになるのです。

こうして自分が行動したことで起こるリアクションから引き出したタネは、実感を伴っているので使いやすいし、構造化もしやすいものになります。

(畑村洋太郎「考える力をつける本」による)

(1) 二重傍線部A～Fのカタカナと同じ漢字があてはまるものを、次の

①～④の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

A ホウ含

1

① ホウ復

② ホウ帯

③ ホウ公

④ ホウ浪

B 企カク

2

① 比カク

② カク醒

③ 皮カク

④ 計カク

C チユウ象

3

① チユウ出

② 字チユウ

③ チユウ実

④ チユウ車

D 成セキ

4

① セキ任

② セキ所

③ 山セキ

④ 紡セキ

E ケン索

5

① 冒ケン

② ケン築

③ ケン定

④ ケン康

F ベン利

6

① 方ベン

② 万ベン

③ 雄ベン

④ ベン強

(2) 傍線部ア「要素の構造化」とありますが、なぜこれが必要なのか。その理由の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

7

- ① 知識やデータをたくさん持っているだけでは、新しい考えをつくり出すことはできないから。
- ② 最初は頭の中に浮かんだ考えがはっきりとしていないので、表出しなければならぬから。
- ③ たくさんのデータや知識を整理して構造化できれば、評論家として社会で活躍できるから。
- ④ 学校や会社で与えられる課題は複数の答えが想定されており、単純とは言い難いから。

(3) 傍線部イ「刺激を受ける機会、すなわち対象を観察したり、自発的に行動すること」の例として適当でないものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

8

- ① 自分があまり興味を感じないことであっても、専門家の説明を聞き、理解を深める機会を得ること。
- ② 学校で行われた試験で満足が行く結果が出なかったことが気になり、原因を探ろうとすること。
- ③ 会社の仕事として命じられた課題のテーマが曖昧だったので、細かく分析して問題解決に向かうこと。
- ④ メディア上で見つけたあるニュースに関する専門家の見解を聞き、深い疑問を感じて自ら足を運ぶこと。

(4) 傍線部ウ「闇雲に」とありますが、これに近い意味のことばとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

9

- ① 自業自得 じごうじとく
- ② 起死回生 きしかいせい
- ③ 無闇矢鱈 むやみやたら
- ④ 優柔不断 ゆうじゅうふだん

(5) 傍線部工「三現」とありますが、それは何をするのですか。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

10

- ① ネットなどで事前に多くの情報を得てから、現地で現物を見て正しく解釈すること。
- ② 現地で現物に触れることを大切にしながら、手間暇をかけずに対象を理解すること。
- ③ メディアが全く取り上げないような場所に赴いて、現物や現地の人から情報を得ること。
- ④ 実際に自分で現場に出かけ、現物に触れたり現場の人から直接話を聞いたりすること。

(6) 傍線部才「これが考えをつくるのに最も適した方法だと私は考えています」とありますが、その理由の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

11

- ① 専門家の見解はある事象に関する見方を与えてはくれるが、客観的な事実を積極的に伝えることはしないから。
- ② ネットや専門家からの情報だけでは限界があり、自分自身で体験することによって重要な視点が得られるから。
- ③ メディアによる報道の内容は多くの場合実際の現場の様子とはかけ離れており、正確な情報とはいえないから。
- ④ 実際に現場を体験するとメディアからは得られない熱い感情を持つことができ、取材に一層熱が入るから。

(7) 傍線部力「目的意識を持って行動し」とありますが、そのようにする理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

12

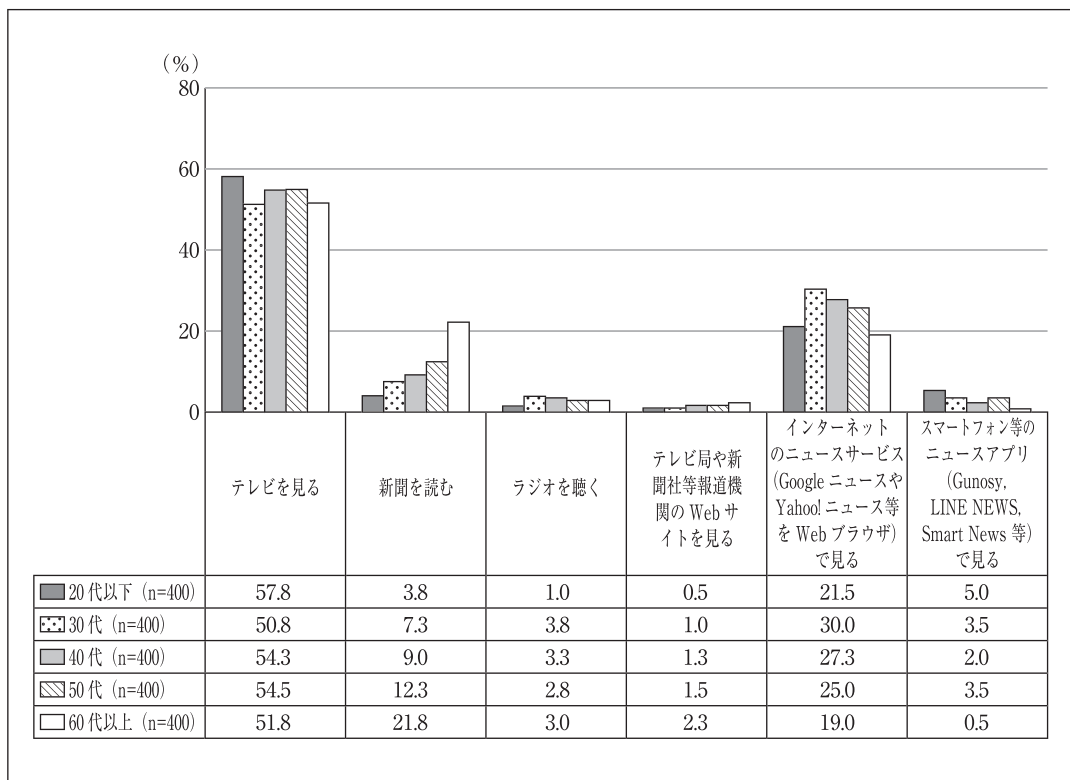
- ① 目標を持たずに行動していると誤った解釈が入り込む余地が生まれるので、自分の目的にあった見方が大切だから。
- ② 現場において視覚だけでなく自分が持つ五感をすべて活かすためには、大切な意味を持つ目的意識が必要だから。
- ③ 漠然とした観察を続けても考えをつくることには至らず、自分なりの目的意識があると観察の視点が定まるから。
- ④ 行動から得られた刺激はまとまりがないので、自分の目的意識によく合うものだけを選び抜くことが大切だから。

(8) 次の資料は、ニュースを視聴する際の手段に関する調査研究の結果である。本文とこの資料から読み取ることが出来る内容として最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

13

- ① 「考えをつくるのに必要な要素がまだバラバラに浮かんている状態」と本文にあるように、様々なメディアを使うとかえって混乱すると言える。
- ② 「何も刺激がないところでは頭が働き始めない」と本文にあるように、情報を得るためのメディアの選択肢が多いことは人々にとってよいことだと言える。
- ③ 「いまの時代は、ネットをはじめとするメディアも充実しています」と本文にあるように、インターネットはテレビに次ぐ情報源になっていると言える。
- ④ 「実際に考える要素を取り入れるタネを仕入れる場としてはメディアは非常に有効です」と本文にあるように、情報を得るために選ぶメディアは年代層による違いはないと言える。

〈資料…ニュースを視聴する際の手段に関する調査研究〉



(9) 本文の内容として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

14

- ① 筆者は情報を得てそれをどのように分析するかについて説明しており、対象をより具体的に捉えることで、考えをつくるのに必要な要素に実感を持って、容易に構造化できると述べている。
- ② 筆者は情報を収集することやそれをどう解釈するかについて説明しており、どのような対象であれ自分独自の考え方を構築することを最優先することが一番重要だと述べている。
- ③ 筆者は情報の真偽を見極めて真実を理解するための方法について説明しており、そのためには現場において自分自身で思考するのが有益な方法で人々の共感を得やすいことを述べている。
- ④ 筆者は情報から自分の考えをつくることについて説明しており、混乱しがちな思考を整理して現実に即したものにすることは、事故が起きた状況を具体的に現地で観察するべきだと述べている。

二 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

京にある輔親^{すけか}という貴族の屋敷^{やしき}には、毎朝十時頃（巳^みの時）に必ず鶯^{うぐいす}がやって来て、美しい声を聞かせていた。輔親は有名な歌詠^よみたちを家に招いて、その声を聞かせようと思い、使用人の「男」に鶯を追い払わないように言い含めておいた。

辰^{たう}の時ばかりに、時の歌よみども集まり来て、いまや鶯鳴くと、うめきすめきしあひたるに、さきざきは巳の時ばかり、必ず鳴くが、午^アの刻の下がりまで見えねば、「いかならむ」と思ひて、この男を呼びて、いかに、鶯のまだ見えぬは。今朝はいまだ来ざりつるかと思へば、「鶯のやつは、さきざきよりもとく参りて侍^{はべ}りつるを、帰りげに候^{まう}ひつるあひだ、召しとどめて」といふ。「召しとどむとは、いかん」と問へば、「取りて参らむ」とて立ちぬ。

「心も得ぬことかな」と思ふほどに、木の枝に鶯を結ひつけて、持て来たれり。おほかたあさましともいふはかりなし。「こは、いかにかくはしたるぞ」と問へば、「昨日の仰^{おほ}せに、鶯^{*}やるなど候ひしかば、いふかひなく逃し候ひなば、弓矢とる身に心憂^{*}くて、神頭^{*}をはげて、射落^{おと}して侍り」と申しければ、輔親も居集まれる人々も、あさましと思ひて、この男の顔を見れば、脇^オかいとりて、いきまへ、ひざまづきたり。

〔十訓抄〕による

（注）*うめきすめきしあひたる＝悩みうめきながら歌を詠み合っていた。

*とく＝早めに。

*帰りげに＝帰ってしまいそうな様子で。

*心も得ぬことかな＝よくわからないことを言うものだ。

*あさましともいふはかりなし＝あきれたと言っても言い足りない。

*やるな＝逃がすな。 *心憂くて＝情けないことなので。

*神頭をはげて＝神頭の矢（先の丸くなった矢）をつがえて。

*いきまへ＝息を張って。

(1) 傍線部ア「午の刻」として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

15

- ① 六時前後 ② 八時前後
③ 十二時前後 ④ 十四時前後

(2) 傍線部イ「いかならむ」とありますが、輔親がそのように思った理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

16

- ① 待っていても鶯がやって来ることがなかったから。
② 鶯が美しく鳴いたのに良い歌が詠めなかったから。
③ いつもより多くの鶯が集まってやって来たから。
④ 鶯は来たものの、一向に鳴こうとしなかったから。

(3) 傍線部ウ「この男を呼びて」とありますが、「この男」に言った内容が書かれているのは、本文中のどこからどこまでですか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

17

- ① いかに
- ② いかに、鶯のまだ見えぬは。
- ③ いかに、鶯のまだ見えぬは。今朝はまだ来ざりつるか
- ④ いかに、鶯のまだ見えぬは。今朝はまだ来ざりつるかと問へば

(4) 本文中にある四つの二重傍線部の中から動作の主体が他の三つと異なるものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

18

- ① いふ
- ② 立ちぬ
- ③ 思ふ
- ④ 申しければ

(5) 傍線部エ「いかにかくはしたるぞ」の意味として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

19

- ① どこでこういうことをしたのか
- ② どうやってこんなことができたのだ
- ③ どれほどこんなふうにしたのか
- ④ どうしてこんなことをしたのだ

(6) 傍線部オ「この男の顔を見れば」とありますが、このとき「この男」はどのような様子でいましたか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

20

- ① 自分が行ったことを自慢に思っている、ひどく得意そうな様子。
- ② 主人に恥をかかせてしまったことを後悔している、哀れな様子。
- ③ 周りの人が何を思っているかが分からず、困惑している様子。
- ④ もっと上手くやるべきだったと気づいて、恥ずかしそうな様子。

(7) 本文の内容として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

21

- ① 男は鶯を逃がしたことで輔親からひどく叱られるのを恐れて、鶯は見ていると嘘を言った。
- ② 鶯はいつもより早くやって来たが、帰ってしまいそうに見えたので、男は鶯を捕らえてしまった。
- ③ 男は鶯がいつもよりいい声で鳴くのを願って、厳しく訓練をすることを思いつき、実行した。
- ④ 鶯は輔親の屋敷で男から追いかけてひどくおびえてしまい、男の目を盗んで逃げ去ってしまった。

(8) 本作品（「十訓抄」）は鎌倉時代に成立した説話集です。この作品と同じく鎌倉時代に成立した作品として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

22

- ① 『日本霊異記』
- ② 『竹取物語』
- ③ 『徒然草』
- ④ 『今昔物語集』

次の漢文を読んで、後の問いに答えなさい。

哉や
○
「

* 廬
|| 隠す。

（「孟子」による）

(1) 傍線部①「存」とはどのような意味か。最も適当なものを、次の①

- ① 生き延びること。
- ② あとに残ること。

③ はつきりしていること。

④ そのまま有ること。

(2) 傍線部②「莫良於眸子」が「眸子より良きは莫し」という書き下し

文になるように返り点をつけるとき、次のA～Cに適するものを、それぞれあとの①～⑧の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい（同じ番号を何度選んでもよい）。

莫_A良_B於_C眸_D子_E

• A	24
• B	25
• C	26

⑤	①
▽	一
⑥	②
上	二
⑦	③
下	三
⑧	④
返り点なし	レ

(3) 傍線部③「能」とありますが、文章中と異なる意味で「能」が用いられている熟語を、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

27

- ① 万能 ② 才能 ③ 可能 ④ 能面

(4) □に入る最も適当な語を、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

28

- ① 苦 ② 正 ③ 優 ④ 悲

(5) 傍線部④「聴其言也、觀其眸子」とありますが、これについての説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

29

- ① その人の言うことを聞く前に、その人の瞳を見れば
② その人の言うことと、その人の瞳を比べてみれば
③ その人の言葉をよく聞き、その人の瞳をよく見れば
④ その人の言葉を聞かずに、その人の瞳だけ見れば

(6) この文章が伝えようとしていることとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

30

- ① 孟子は、人の心の中のあり様はその瞳に明白に表れるものであって、それを隠すことはできないと教えた。
② 孟子は、人の瞳の輝きかたがその人の熱意を表すので、一番瞳が輝いている人を味方にすべきだと教えた。
③ 孟子は、人の瞳が澄んでいる間はその人の言うことを信用してよいが、曇り出したら疑うべきだと教えた。
④ 孟子は、人の正しい心がその瞳によく表れるように、どんな人の気持ちでも瞳で判断できるものだと言った。

四

次の(1)～(4)の熟語と最も関係の深いことばを、あとの①～⑧の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

(1)	苦勞	31
(2)	不屈	32
(3)	無駄	33
(4)	忍耐	34

- ① 早起きは三文の得
- ② 可愛い子には旅をさせよ
- ③ 出る杭は打たれる
- ④ 待てば海路の日和あり
- ⑤ 朱に交われば赤くなる
- ⑥ 豚に真珠
- ⑦ 七転び八起き
- ⑧ 濡れ手で粟

五

次の(1)～(4)の文の空欄にあてはまる最も適なことばを、あとの①～⑦の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- (1) 何かありましたら私がすぐその場に 35 お聞きます。
- (2) 先生は私たちに大切なことを 36 、うなずかれました。
- (3) どうぞ、こちらの部屋に 37 ください。
- (4) お客様は晩御飯を 38 、帰られました。

- ① 頂いて
- ② おっしゃって
- ③ 召し上がって
- ④ いらっしゃって
- ⑤ 拝見して
- ⑥ 参上して
- ⑦ 申し上げて

六

次の(1)～(4)の各組で、傍線部の単語の品詞が異なるものを、①～④の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

(1)
④ ③ ② ①
いつそ今日はこれで終わりにしよう。
そうだ、明日は動物園に行こう。
おそらくもうすぐ雨は止むだろう。
彼は一体何を言いたいのだろう。

39

(2)
④ ③ ② ①
小さい町で私は生まれました。
彼はさみしくなると音楽を聞く。
もっと大きな声で話しなさい。
どこか遠い国に行ってみたい。

40

(3)
④ ③ ② ①
ぼくは決してごまかしたりしない。
卵がもうないことに気づいた。
きれいでない部屋にはいたくない。
何も恐れることはないよ。

41

(4)
④ ③ ② ①
彼の行動はとても立派だ。
この絵は世界的に有名な。
この坂はなだらかだね。
あそこに見えるのが私の家だ。

42

